

ともに生きる ともに創る 共生共創通信

VOL.11

個性、
舞台、
どくどく。
とことん
ともに生きる ともに創る
共生共創事業

綾瀬市
特集号



多文化が輝くまち

綾瀬市

子育て世代が増加
外国人市民を地域の担い手に

県央に位置する綾瀬市の人口は8.3万人。外国人市民は現在およそ4千人で、4.9%と神奈川県内の市町村の中ではもっとも多い人口比率です。外国人市民が増加したきっかけは、1980年に隣接する大和市にインドシナ難民を受け入れる定住促進センターが開設されたこと。綾瀬にもベトナム、ラオス、カンボジアの方々が多く住まうようになりました。

また、ここ10年ほどで人口を増やしているのはスリランカからの方だそう。中小企業の工場が集積している綾瀬市の土地柄を活かして、自ら創業。妻子とともに来る方も多く、市内に新たな活気をもたらしています。一方、転入して来たばかりの方が、日本独自の文化や生活ルールに戸惑いを覚えている様子も見られるそうです。

こうした地域の多文化共生の担い手になっているのが、市内に7つある日本語教室です。

2月にイベント開催!

世界の「あそび歌」を通して多文化に触れよう!

神奈川県には外国にルーツのある方々が多く暮らしています。神奈川県あそび歌プロジェクト「世界の歌とあそぼう」では、さまざまな人が一緒に楽しむことができる「あそび歌」を通して、多国籍・多文化への理解と魅力の再発見を目指し活動しています。



このプロジェクトでは、世界の「あそび歌」のリリースをし、振付家のホナガヨウコと音楽家の「3日満月(佐藤公哉、権頭真由)」と一緒にアレンジ。日本で暮らす子どもたちと楽しめるように、歌詞や振り付けを考えました。そうしてできた「あそび歌」を、歌にまつわるストーリー・文化背景などを収録したレクチャー映像とデジタルリーフレットで紹介しています。

今年度は綾瀬市でスリランカの「あそび歌」、ハンガリーの「あそび歌」のリリースを進めているほか、子どもたちを対象にワークショップを実施しています。2023年2月には、県民共済みらいホールにて会場の皆さんと一緒に「あそび歌」を楽しむイベント「あそんでみよう!世界のあそび歌」(仮)を開催予定です。「あそび歌」を通して多文化を感じ、協力すること・想像すること・創り出すことをみんなで体験しましょう!

神奈川県では、年齢や障がいなどにかかわらず、全ての方が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施しています。

神奈川県
共生共創事業
2022年度ラインアップ

2022年11月12日(土) 演劇
綾瀬シニア劇団 Hale [終了]
第3回公演『Hale版しあわせの王子』
綾瀬市オーエンス文化会館 大ホール

2023年1月28日(土) 演劇
小田原シニア劇団チリアクオールディーズ
『つくづく、も～あらしの日～/～おまつりの日～』
小田原三の丸ホール 小ホール

2023年2月18日(土)、19日(日) 演劇
横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」
第5回公演『こんな12人観たことない!』
ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

2023年2月中旬 音楽・ダンス
神奈川県あそび歌プロジェクト
「あそんでみよう!世界のあそび歌」(仮)
県民共済みらいホール

2023年3月上旬 影絵
やまゆり園×劇団かかし座
「シャドウ・ファンタジー」(仮)
オンライン配信

2023年3月中旬 ダンス
チャレンジ・オブ・ザ・シルバー
2022年度成果発表(タイトル未定)
横浜赤レンガ倉庫1号館

2023年3月中旬 演劇
地域活動支援センターほわほわ×山本卓卓
ワークショップドキュメンタリー(タイトル未定)
オンライン配信

お問い合わせ

公益財団法人神奈川芸術文化財団
社会連携ポータル課
〒231-0023 横浜市中区山下町3-1
神奈川県民ホール内

電話 045-306-6811(平日 10:00~18:00)
ファックス 045-663-3714
メール kyoso@kanagawa-af.org

主催 神奈川県 企画製作 公益財団法人神奈川芸術文化財団

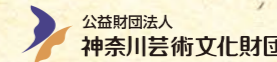


<https://kyosei-kyoso.jp>



ともに生きる社会
かながわ憲章
KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

ME-BYO®



令和4年度文化庁
文化芸術創造拠点
形成事業

綾瀬市を拠点とする かながわシニア創作創造プロジェクト

綾瀬シニア劇団Hale

プロジェクトリーダー・倉品淳子さんに
Haleの活動についてうかがいました。



Q4 2023年1月～3月は体験入団を募るそうですね。

そうなんです！今回のワークショップは2日間だったので参加できたという方が多い気がして。体験入団を募ることで、継続的に活動をしたいという方に巡り会えるかなという気持ちです。劇団活動の可能性を広げる試みで、今後の活動につながったと思っています。

Haleの演劇の幅が広がっていきそうですね。今後の活動や公演に期待が高まります。本日はどうもありがとうございました！



Haleは新しいメンバーを随時募集しています。一度、稽古を体験してみませんか？

対象：神奈川県内在住・在勤の原則60歳以上の方
稽古日：①2023年1月21日(土) ②2023年1月22日(日)
③2023年2月18日(土) ④2023年2月19日(日)
⑤2023年3月18日(土) ⑥2023年3月19日(日)

詳細は下記連絡先へお問い合わせください。
綾瀬シニア劇団事務局(劇団 山の手事情社 内)
電話：03-6410-9056
メール：ayase-senior@yamanote-j.org

● Haleのメンバーに聞きました！

Haleの活動に参加してよかったことはなんですか？

お芝居に集中しているときは、日々の苦労や大変なことを考えない。そのメリハリが好きです。それと、素の自分を出してよいと思えるようになったことですね。はじめてそう感じたときは、胸がパンと破れたような気がしました。Haleの活動を通じて「自分を表現するのはおもしろい」と思えたことが、私にとっていちばんのうれしいことかも。平舘律子さん(愛称：りんごちゃん)

Q1 綾瀬シニア劇団Haleはどんな劇団ですか？

2019年度9月よりスタートした、綾瀬市を拠点とするシニア劇団です。劇団員は60歳以上のシニアの方たちで、定期的に稽古を行い、公演やワークショップを実施しています。テーマから、構成、スタイルまで、何でもみんな話合せてつくるので、演劇がはじめての方も楽しく参加できると思います。

Q2 9月の「いろ～～んな年代の人でエンゲキやってみよう!」はいかがでしたか？

演劇ワークショップと発表会を開き、「演劇をやってみよう!」と思っている方を募りました。Haleのメンバーとともに演劇の基礎稽古をしたあと、劇の創作から練習を行い、最後に発表会でお披露目しました。いろいろな年代の人のお芝居をつくると、さまざまな価値観や風景が見えて、とてもおもしろかったです。たった2日間で作ったとは思えないほど魅力的な作品ができたのではないかと思います。

Q3 いろいろな年代の人でワークショップをしようと思ったきっかけは何でしょうか？

お芝居の設定が、親子とか同年代の友達同士とか、固定しがちで。私が宮城県でやっている劇団「えずこシアター」は広い世代で寸劇などをつくっているのですが、多様なお芝居が生まれるなあという実感があつたんです。特に今はコミュニティが交わることが少ない。おじいちゃんおばあちゃんが若い人と話す機会が減っていると思うんです。演劇はコミュニケーションのきっかけ。「こういうことがあったよ」「こんなことを考えているんだよ」と話す時間が生まれる。そして話し合っているときがとっても楽しいんです！

参加を考えている方に一言お願いします！

公演が近づく毎週土日がお稽古で忙しくなることも。演劇は体力勝負と思ってジョギングを始めたんです。ハレの日があるからこそ、体力作りが大事と思うようになり、さらには日々の生活リズムも気にするように。精神的にも肉体的にもすごく健康的になりました。長谷川ひかりさん(愛称：びかちゃん)



外国人市民がのびのびと活躍できる地域に育てたい
綾瀬市に7つある日本語教室は、それぞれ地域や開催する時間帯、対象が異なり、日本語を学びたい外国人市民の多様なニーズに応えられるように活動しています。2020年には学校現場でのサポートを目的に新団体「にぬふあぶし」がスタートし、翌年、地区センター等でも春・夏・冬の長期休みに日本語教室が開かれるようになりました。
「日本語が話せない子どもにとって、放課後の日本語教室が居心地のよい場所だとしたら、学校では日本語がわからず息苦しい状況なのだと思いがついて」と立ち上げの動機を語ってくれたのは、代表の門間さん。現在は、入学・編入前の日本語支援拠点となるプレスクールの実現を目指し、活動しています。同じく子どものための日本語教室「キッズかけはし」「キッズなかよし」の代表の太田さんと永田さんは「放課後、日本語教室で生き生きと楽しそうに過ごす子どもたちと接するのが一番の喜びです」と話してくれました。
こうした市内の日本語教室は行政も含めた「横連携会議」を定期的に開催しています。このネットワークはコロナ禍でのワクチン接種対応時にも大いに活か

● 綾瀬市の日本語教室

外国にルーツのある子どもたちのための日本語教室「キッズかけはし」「キッズなかよし」。日本語習得支援、学習支援、居場所の確保を目的に開かれています。



「キッズかけはし」

日程：第1、2、3水曜日
会場：綾北福祉会館
対象：主に小学生
費用：200円/月

「キッズなかよし」

日程：第1、2、3金曜日
会場：中村地区センター
対象：主に小学生
費用：200円/月

このほか5つの日本語教室がありますので、詳しくは綾瀬市のホームページをご覧ください。



共生共創通信

多文化が輝くまち 綾瀬市

され、行政の外国人市民の具体的なニーズ把握に繋がりました。それにより綾瀬市はワクチン接種予約のコールセンターをなんと13言語対応で行い、全国でも外国人市民の接種率が高かったそうです。
総合計画に「外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト」を掲げる綾瀬市。市民活動の広がりは、多文化共生のまちづくりにとって不可欠な存在といえるでしょう。綾瀬市ではスリランカ・レイニス・アソシエーションといった団体も新たに立ち上がり、市民間の多文化交流がより一層充実していきそうです。

あやせ国際フェスティバル

約20年前から綾瀬市で開催されている国際フェスティバル。外国料理やスピーチ、ワークショップがあり、外国人市民との多文化交流の場となっています。

